

東雲地区タウンミーティング(要約)

平成26年4月13日(日曜日)

【市長】 皆さんこんにちは。今日はどうぞよろしくお願ひいたします。このタウンミーティングですけれども、日曜日の午後に開催を本日させていただいており、本来でしたら家でゆっくりされている時間かと思ひますけれども、このようにお集まりをいただきましてありがとうございます。このタウンミーティングはどちらが楽しかという話をすると市役所で待っているほうが楽しです。でも果たしてそれでいいんだらうかと思ひました。私が就任させていただいてからこのタウンミーティングを始めさせていただきまして、松山市には旧松山市、旧北条市、旧中島町合わせて41地区ありますけれども、その地区ごとに我々が出向かせていただいて、各地区でのお困りごととか課題とか、逆に魅力もあらうかと思ひます。そういったものを意見交換させていただいて、できることから市政に反映させていこうというのがこのタウンミーティングでございます。東雲地区でのタウンミーティングは、一昨年(2014年)の12月に開催をさせていただいて、1年4か月ぶり2回目になります。また、松山市のタウンミーティングの特徴は、やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにはしないのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。皆さんからご質問などをいただきましたら、この場でできる限りお答えをします。でも、中には財政的な問題のあるものとか、国と絡む案件とか、県と絡む案件などはいったん持ち帰らせていただいて、そして1カ月を目途に必ず地区に答えをお返しするのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。今回のタウンミーティングの開催にあたりましては、東雲校区町内会の会長をはじめ、役員の皆様方のご協力をいただきました。本当にありがとうございます。今日はお子さんたちも来られておりますので、将来の東雲に向けてよりよいまちづくりの議論、お話し合いができればと思ひます。今日はどうぞよろしくお願ひいたします。

【小学生】 東雲小の6年です。僕の小学校の東雲小学校は今年から学校の工事が始まって、運動場が外が使えなくなるので、それで学校の近くの東雲公園にはグラウンドがあるけれど、公園ではボール遊びができないので、いつも工夫して遊んでいるけれど、広い場所なのでサッカーボールで遊んだり、ラグビーの練習ができたらいいなと思ひているので、東雲公園にフェンスなどの設備をつくってボール遊びができるようにしてくれたらいいなと思ひます。よろしくお願ひします。

【都市政策課長】 都市政策課の川口でございます。ご意見ありがとうございます。

ざいます。公園でのボール遊びにつきまして、色んな地区でのタウンミーティングで色んな方からご要望をいただきます。まず、公園のボール遊びでございませけれども、ほかの公園利用者の皆さんへの危険性とか、近隣の皆様へご迷惑がかかること、また東雲公園は街区公園としては広いんですけれども、野球やサッカーをするために十分な広さがないという理由から原則公園でのボール遊びは禁止をしております。しかしながら、ただいまのご意見のように、ボール遊びを求める市民の皆様からの声が多く挙がっております、平成22年に開園をいたしました城山公園の堀之内地区とか、石手川緑地では市民の皆さんが決めたルールに基づいてボール遊びを許可している区域があります。ボール遊びを可能にするためには地元の公園管理協力会の皆さんを中心とした町内会の皆さんとか、子ども会の皆さんなど地域の方々のご理解またはご協力をいただきながら、それぞれの公園に合ったルールづくり、またマナーの徹底などを進めていく必要があると思っております。松山市ではそのような中、平成18年度からボール遊びのできる公園づくり事業ということを実施しております、地域からのご要望を受けてこれまで8公園で整備が完了しております。東雲公園でもこのような意見をもとに、皆さんでこのボール遊びができる公園づくりに参加をいただきまして、地域の皆さんでぜひ話し合いをしていただきまして、具体的な担当は公園緑地課が担当しております。このご意見を受けてフェンスを高くしたり、そういうハード整備についても検討させていただきますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

【市長】 私から補足を。みんな近くの公園でボール遊びができたらいいなと思うと思います。市役所のお仕事は色んな人の声が集まってくる場所です。東雲公園だけのことじゃなくて全体的なお話をさせていただきますね。松山市役所は市長へのわがまちメールといって市長に直接メールや手紙が届く制度をつくっています。公園のことでは大きく二つの意見があります。まずボール遊びが怖いですっていう方、ちょっと困るんですっていう人の意見と、ボール遊びがしたいですっていう二つの意見があるんです。えっと思ったかもしれないけど、まずボール遊びが怖いです、心配です、困るんですっていう意見は小さいお子さんがいる人のお母さんとかお父さんとかおじいちゃんとかおばあちゃん。みんながマナーを守って遊ばないと、小さい子どもを遊ばしに行ったときにボールがきたとか、近くでバットを振る子がいたとか、そういうので危なかったのもルールはどうなっているんですかという問い合わせとか、またこれは実際に公園のそばに住んでいる中学生の女の子からきたメールですけども、うちの家は公園のすぐそばにあります。公園からボールがうちの家に飛び込んでくるんです。

まずボールが飛び込んでくるのが困る。家のガラスに当たったり屋根に当たったりする。何も言わないで入ってくるのが困るんですという、ボール遊びをすることによって困るんですという方の声もある。ボール遊びをしたいという声もあるんです。今、そういう中で東雲公園はどういうことができるのかということを検討させてもらったらと思います。今、近所というと城山公園また石手川緑地はボール遊びができる公園になっていると思う。石手川緑地はちょっと遠いので城山公園では難しいかな。遠く感じるとか。どんな？

【女性】 校区外ですので、子どもたちだけでは行けないことになっているんです。そこまでボールを持っていかれないよね。

【女性】 子どもたちの今のお話を東雲小学校の6年生のほとんどが名前を書いて署名を出していますので、後でゆっくり見てほしいんですけども、よく読んでいただければわかると思うんですが、子どもたちもそうした危険であるというのはよくわかっていて、散々トラブルがあったのでわかっているんで、そこの今のお話があったところには、よく聞いていただくと、フェンス等をつくって要するに檻ですよ。ボール遊びをする檻のようなものをつくってくれないかというのが要望なんですね。それで東雲小学校はもう一つ運動場が工事で使えなくなる可能性があります。ですので、本当に喫緊の問題なんですね。もう一つは東雲公園は大きなグラウンドがあって確かに野球やサッカーはできませんけれど、何も使われていない状態なんですね。その状態を放置しておいて、それでここでボールで遊ぶなどというのはちょっと酷なんです。子どもというのは、ここで今おとなしくしていますけど、どうしておとなしくしているかという公園でボール遊びができるかもしれないというめったにないチャンスなので、子どもたちはたくさん来ておとなしくしていただけるんですね。それだけ子どもにとってボール遊びが大事で、私も子どもを持っていて、男の子がいて、小学生で1年生から6年生ぐらいまでの間、もしボールがなくてボール遊びができなくて、それで子どもたちをおとなしく制御させてしつけをきちんとさせてと言われたら、これ手足をもがれたまま子どもをきちんとしつけろと言われていたのと同じようなものなんですね。子どもにはやっぱりのびのびと遊んでもらわないと、子どもは育ちません。運動場がもう明日にも使えなくなるかもしれないような状態で、おとなしくしなさいと、ゲームばかりするなどこれは無理ですね。どうしたってゲームばかりするような子どもに育ってしまいます。そうした問題がこの東雲地区の大きな問題としてありますので、事情はよくわかりますし、地域の方とご相談してというのはわかりますが、これからこの地区を担っていくのはこの子どもたちなん

です。この子どもたちがちゃんと育つために、どうぞ子どもたちにボール遊びができるような場所をこれは子どもたちの仕事なんです、育つための。社会性を身に付け、体を育てる、そうした大事なことなので、ぜひとももう少し深刻に考えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【市長】 すみません。深刻に考えていないことはありませんので、そこはご理解をいただきたいと思います。前回どこかのタウンミーティングで校区外なので行けないというのがありましたね。近くだから校区外を外してもいいんじゃないかと。ハード・ソフト両面という言葉があるんです。ハードでできなかつたらソフトでとか、そのやり方もいろいろあるかと思うんですけど、どうだったですかね。近くだから校区外を外してもいいんじゃないかという議論もありましたよね。

【生涯学習政策課長】 教育委員会、津田でございます。八坂地区のタウンミーティングで、八坂もやはり町なかに位置しておりますので、お子さんたちがボール遊びをする公園もないということで石手川公園の話が出ました。八坂も校区の範囲が広いですから、一部の子どもたちは行けるんですが、やはり一部の子どもたちは学校の規則じゃないんですけども、遠慮してくださいというのが学校の願いではあります。目が行き届かないケースもありますでしょうし、お父さん方、お母さん方が常時お子様を連れていくという、ゆとりのある時間もあれば、ない時間もありますので、やはり目の行き届く範囲ないしは学校の校区の中でお願いしますというのが現状だと聞いております。ですから、もし東雲校区も校区外の城山公園を利用できるかどうかは一度PTAとか学校でご相談いただいて、その枠を外すかとなろうかと思えます。

【市長】 そしてもう一つ。運動場がほとんど使えなくなるというのはどうなんですか。

【生涯学習政策課長】 御存じのとおり、この夏から小学校の取り壊しが始まります。予定では来年の12月ぐらいまでは色んな工事車両が入ろうかと思えますので、一部制限がかかりながらも100パーセント開放はできていない実情だと思います。

【市長】 現実的に使える面積が少なくなるのは確か。

【生涯学習政策課長】 これは間違いなく工事が入りますから、これは致し方ない事実でございます。すみません。

【市長】 はい、わかりました。じゃあちゃんと検討させていただきます。

【男性】 東雲公園の会長をしております。今、ご指摘があったボール遊びについては、やっぱり公園に行きますと小さいお子さんとか、お年寄りがよく来られているわけなんです。そしてあそこはすぐ隣に幼稚園があり

ますけれど、幼稚園の生徒が遊びに来ているというところで、ボール遊びはやっぱり危ないと私は感じております。たまにはボール蹴ったりとかはしていますけど、見たときには注意はしてないんですけど、安全なのかなと確認しながら見ておる状態なんですけど、やっぱり小さい赤ちゃんとか老人の方がよく来られておるんでボール遊びはやっぱり難しいかなと思います。

【中学生】 東中学生です。私は遊ぶ施設について発表します。私の家の近くにはハーモニープラザという遊ぶ施設があります。そこでは外で遊んだり、中でボール遊びやボードゲームができます。健全育成や情操を豊かにする場所でもあります。でも東雲地区には東雲公園ぐらいでハーモニープラザは東雲小の小学生は校区外なので、もっと遊べる場所を各地域に増やしてほしいと思います。また中学生でも十分楽しめる場所なので、ぜひ気軽に行ける施設をつくってもらいたいと思います。よろしくお願ひします。

【市長】 これは校区外というくくりを何とかしないといけませんね。今、私の個人的な思いですけど、東雲校区からハーモニープラザって近いイメージがあるんです。でも校区外だから子どもたちだけで行っちゃいけない。確かに校区外に出るのは心配だというのもわかるんですけど、ちょっと難しくなっているところがあります。これもきちんと検討させていただきます。皆さんもそう思うと思うんですけど、41地区のすべてに児童館を設置することができれば、校区外に出れないんだったらそれぞれの地区に児童館を設置することができたらいいんですけども、これは現実的には申しわけないですけど難しいと思います。例えば41地区で空き家みたいなところを利用して児童館に改築するようなこともできるかもしれませんが、そうすると今学校でやっている児童クラブとどこが違うんだという話にもなるかと思います。そして、今、松山市には児童センター、児童館が松山市内全体で7カ所あるんです。今度一つ増やすことにはなっているんですけども、まだ現実どこにつくるかは決まってないんですけども、例えば立岩という北条の奥にあるんですけども一番近い児童館が久枝児童館だと思っています。20キロぐらい離れているんです。でするので、そちらを先に整備しなくちゃいけないと思っています。お子さんを前にして財政的なことを言うのはつらいんですけども、今、国が1千兆円の借金を抱えています。地方には地方交付税交付金とか国庫支出金という形で地方にお金が回ってくるんですけども、仕送りと一緒にです。国が大きな借金を抱えていたら地方に回ってくるお金が増えるとはとても考えにくいんです。私がこの立場をいただいて財政のことを見ていますけども、油断はで

きない状況です。健全財政ではありますけども油断はできない状況です。例えばこの地区に児童館をつくっちゃったら、「あそこの地区だけ児童館ができていいな」。やっぱり全体のバランスも考えないといけないので、そして今からよく聞かれると思いますけども少子高齢化です。子どもの数は少ない。高齢者の方は多くなる。高齢化してくると、どうしても体が悪くなることがありますから医療費は要るわけです。皆さん税金を払いたくてたまらないという人はまずいないと思うんですけども、でも我々は税金をいただかないと色んな事業はできないんです。例えばごみを集めるにしても、ごみを収集する人が要ります。ごみを収集する車も要ります。ごみを集めたら一般的には焼却します。そういうのは税金でやらせていただいているわけです。ですので、松山市はみんなにごみを少なくしてください、ごみが少なくなったらごみを集める人の数も少なくなる。ごみを集める車の数も少なくできる。ごみ焼却施設も長続きできるので、そこでお金が節約できてほかにお金が使えるので、ごみの節約をしてください、ごみの削減をしてくださいとお願いをしているところです。今どこの自治体もお財布が厳しい状況なので、色んな施設をつくるのが難しい状況をご理解いただけたらと思います。とにかくハード整備ができんのだったら何ができるのかを真剣に考えたいと思います。ご意見ありがとうございました。

【女性】 先ほどの公園でボール遊びをしてはいけないという話にまた戻るんですけども、東雲公園は横に細長いんですが野球やサッカーをするにはちょっと狭いと思うんですけども、ラグビーはたくさんボールを投げたりする、遠くまでそんなに投げないですよ。種類によっては許可するというようなことをしてはどうかとか、あるいは横長の部分を半々に分けて小さい子とお年寄りのゾーンとそのボール遊びをしてもいいゾーンと分けていただくということとはできないのかなと思います。

【都市政策課長】 都市政策課、川口でございます。公園のルールは、松山市でルールを決めているという認識ではなくて、ボール遊びに対する取り組みには、地元の方が色んなルールをつくっていただいて、その中で今のルールではボール遊びは禁止になっているんですけども、こういう形で使いたいというご要望をもとに松山市としてはできるんだったらハード整備としてフェンスを上げましょうという取り組みをしております。実際に先ほど申し上げましたように、八つの公園で色んな取り組みをしておりますけども、個々に違っております。遊ぶ児童の方を登録制で受け入れたり、地域で見守り隊みたいな形で大人がついて遊ばすとか、独自のルールのもとに取り組みをしておりますので、また地元で十分話し合っていていただければと思います。

【女性】 今、お子さんの状況を聞いて私たちここ60年近く東雲校区に住んでおりましたけれど、そんなに子どもたちの遊ぶ場所が大変だということに、ちょっと胸が痛む思いで聞かさせていただきました。それで、今、持田住宅跡地の利用を一部、市でというのがございましたよね。あそこは本当に原っぱのような感じでもいいから、なるべく広く子どもたちのボール遊びの場にするには無理なんではないでしょうか。思いつきで申しわけありません。

【市長】 これについてはさまざま検討させていただいたと思います。市有施設、市が持っている土地もありますので、さまざま検討させていただいたと思います。ご意見ありがとうございます。

【男性】 よろしく願いいたします。僕は東雲小学校の卒業生ですが、現状、東雲小学校大きく変わると思うんですが、それに際して変わる前に卒業生等の人に一般開放する日を設けていただきたいと思うんです。やっぱり、思い入れがあるところなので、タイヤランドとかプールとか使ったことを思い出であるので、ぜひそういう日を一日設けていただければと思います。

【市長】 気持ちよくわかります。私も実は清水小学校でして中学校は親父の仕事の関係で伊予三島に行きまして、私の通っていた中学校が耐震化工事でもうなくなるということを知り、結局仕事で行けなかったんですけども、もう1回行きたかったなと思いました。可能です。できます。皆さん御存じのように東雲小学校は建築後60年が経過しておりますので、耐震基準を満たしていない東雲小学校の校舎の建て替え工事が夏休みから始まります。新校舎の完成は来年の7月ごろ。そして東雲小学校の南校舎の解体はそれ以降となる見込みです。新校舎の完成時にどの地域でも保護者の皆さんや地域の方を対象とした見学会が行われているんですけども、まず新しい校舎ができたならその完成時の見学会が行われると思います。また、以前の施設の開放する日も設けることは可能ですので、この解体する南校舎、保護者や地域の方々の要望として最後のお別れする開放日を学校に相談していただければ設けることは可能ですので、言っていただけたらと思います。桜や遊具についてもお知らせをさせていただきます。実は私事になるんですけども、スポーツ少年団軟式野球の東雲イーグルスというチームにうちの息子も所属をさせていただいておりましたので、東雲小学校のグラウンドで育てていただいたようなものです。立派な桜があったのもよく覚えておりますし、遊具のことも覚えております。まず東雲小学校の桜ですけども、工事に全く影響のない樹木10本程度はそのままにいたします。そして難しいのが桜は古い木になりますと、移植すると大体

弱ってだめになってしまいます。これは樹木医の先生ともお話をしながらやっております、こういう老木が多く移植による保存が難しいのは、挿し木によって子孫を残す方向で検討をしています。そしてやむを得ず切ってしまうものについては、ただ捨てるというのではなくて、ベンチやオブジェなどで残すように検討をしております。そして先ほど東雲公園のコミュニティスペースということでお話のありましたNPO法人えひめグローバルネットワークさんから、ソメイヨシノ1本を東雲公園に移植したいという申し出があり、お話をいただいています。いずれにしても、樹木医と一緒に校内の樹木を調査して移植に適する木と移植は可能だけでも検討が必要な木と、そして移植に適さない木をリストアップしています。そして石碑や遊具などもリストアップをしておりますので、ただ壊すとかいうことのないように気をつけてやっていきたいと思えます。

【女性】 すみません何度も。一言だけ言いたかったのは、東雲公園にフェンスをつくるのは、児童館をつくるよりずっと予算がかからないということをお願いしたかっただけなんです。あと、ついでに申し上げたいのは、この問題は地域の公園をどうするかというコミュニティの問題というよりは、子どもの教育を受ける権利とか遊びを受ける権利という意味で教育の問題だと思っていますので、ぜひ市として責任を持ってお答えしていただきたく思います。子どもに地域の中でルールを決めてねと言われても子どもには難しいので、やっぱり子どもの権利をきちんと汲み上げるのが市のお仕事だと思いますので、その点よろしく願いいたします。ありがとうございます。

【市民部長】 市民部長の片山と申します。ご質問ありがとうございます。公園の件は、いろいろあるかと思っておりますので、これは持ち帰らせていただいて検討させていただいて回答させていただきたいと思っておりますので、公園の件はここ辺で打ち切らせていただいたらと思います。よろしく願いいたします。

【小学生】 さっき男の人が言ってたんですけど、ボール遊びとかは下学年が危ないって言ってたんですけど、それじゃあ鬼ごっことか、ほかの遊びなども危ないってことになってしまうので、危ないかどうかはやってみないとわからないので、よろしく願いいたします。

【市長】 安心して。大人たちが一生懸命考えるから大丈夫だよ。色んな意見があるから、それをまとめるためにはどうしたらいいかな、どんなやり方があるかなというのを大人たちが今から一生懸命考えるから、安心してください。

【男性】 ロープウェー3丁目の通りを昼間だけでも歩行者天国にしては

どうかなという気持ちであります。伊勢神宮に行ったら御存じかと思いますが、あそこのおかげ横丁は完全に歩行者天国で、ロープウェー街に県下の有名どころの企業を、松山市が力を入れて協力して誘致する。各生産者から各企業からいろいろな生産者、あるいはお菓子屋さん、酒の酒造元があそこに出店していただいて、そして道の真ん中には昼間は、南予方面によくありますけど、茶道のようなものを設けて、そこで夏場であれば冷たい麦茶、冬であればあったかいお茶、それをしてこそはじめて、日本一のおもてなしのまちになるんじゃないかなと思うっております。やはり四国遍路の接待の気持ちもそこであらわれて、東雲地区だけではございませんけど、遍路道にそういった茶道を設けるのもやはりお接待あるいはおもてなし日本一の松山にしようと思ったら、それぐらいよそにないようなことをしていただいたらと希望します。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。まず、道路の交通の関係で私からお答えさせていただきます。安全に通行するいわゆる歩行者天国、おかげ横丁のようなものでございますけれども、これは車両の通行を規制する交通規制が伴います。したがって沿線の住民の方々の生活にもかなり影響が及びますので、警察とも十分に協議を行う必要がございますので、地域の方とまたご相談をさせていただいたらと思います。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部の矢野でございます。ご質問ありがとうございます。ロープウェー街のいろいろなイベントですけれども、11月の3日には城山門前まつりが行われておりますし、25年度には7月から10月の毎月第2土曜日に門前日曜市が実施されておまして、地域の皆様の熱意によって、こうしたお祭りイベントが開催されて、非常に多くの方にぎわいをみていると伺っております。今後におきましても、地域経済の活性化の観点からも「商い賑わい支援事業」とか商業活性化の観点からも支援制度がございますので、いろいろ地域経済課が担当でございますので、ご相談いただければ、積極的に支援してまいりたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

【男性】 今まさに東雲地区の連合会の会長様からロープウェー街の活性化をしてはどうかという、すごい力強いお言葉をいただきまして、やはりこの地区の代表する商店街でもあるロープウェー街を何とかしていきたいなと思っております。この3月3日「頑張る商店街30選」に選ばれて私、東京の品川に行きまして大臣から表彰状もいただいたり、いろいろまちの振興のために頑張っております。また、野志市長様におかれましても道路占用料の減免とか、いろいろご尽力をいただいているというところは実感しております。私は地域振興についてと安心安全について一つずつし

やべってみたいんですが、ロープウェー街は頑張って僕たちの力でやって
いっております。例えば夏まつりに関しましては、商工会議所さんお願い
して何とかしてよって言ったら第2会場として協力してもらったりして
いるんですけど、例えばこの春祭りも私らこの3・4月のやりました2回、
松山市さん協力してよといたら松山市さんは予算がないということで
切り捨てられるんです。一緒に検討していきたいと思いますという言葉で
はなくて、一緒に検討してくださいということです。ロープウェー街、
この頑張る30選に対してももらった理由というのは、きれいなまちを維持
しているというところにも関してもいただいておりますので、景観、例え
ば今新たにイタリア料理店がつくられるんですけど、後ろが石垣なんで危
ないということで、「壁をつくりなさい、石垣なんか見せるな」みたいな
ことも言われていますし、もう少し景観にも配慮していただきたい。消火
栓は、消火栓のところに大きなマクドナルドみたいな看板があったり、私
たち商店には看板下ろせよと言われるんですけど、消火栓にはなぜ看板は
いいのかみたいな話もあります。そういった景観も含めて一緒にやってい
ていただきたいということです。

【市長】 これは、補助事業がありますよね。商店街の方にアイデアを出
していただいているのは。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部の矢野でございます。さまざまな
支援制度があります。そしておっしゃられているように一緒に考えていき
たいではなくて一緒に考えますということで担当課に伝えたいと思いま
すし、日ごろから先ほどからおっしゃっていただきましたように、ことば
のタペストリーとかいろいろなご協力をいただいております、非常に美
しいまちづくりにもご協力いただいていることを、まずもって感謝申し上
げますし、そうした進んだ取り組みに対して、予算もありますので時期に
よっては、おっしゃられた形になる場合もあるかもしれませんが、
次年度の予算の確保などを通じていろいろご相談させていただければと
思いますので、よろしく願いいたします。

【市長】 皆さんのこうしたいという企画に対して「商い賑わい支援事業」
とか「中心市街地商店街活性化支援補助金事業」があるんですけども、そ
ういうご説明は担当はしなかったですか。

【男性】 実際、「商い賑わい支援事業」に関しては、もらって門前市を
しております。松山市さんからはそれだけだと私は認識しています。門前
市に対しての補助は多少いただいております。大した金額ではございませ
ん。

【都市ブランド戦略課長】 「商い賑わい支援事業」は、おっしゃられる

ように上限額が50万円でございますが、そのほかにも「地域商店街活性化事業」では、門前日曜市は該当すると思うんですけれども、そちらでしたら上限が400万円が金額が上がってまいりますので、そうした制度も利用できる場合がございます。そのほかにもいろいろな要件がさまざまありますので、こういう場合というのは、申し上げにくいところあるんですけれども、さまざまなメニューを商業活性化に関しては、たくさん用意をさせていただいておりますので、個別の事例について、ご相談をいただきたいと思っております。

【市長】 すみません、石垣を見せるなというのは、どういう案件ですか。

【男性】 ですから、石垣が崩れるかどうかです。きれいなイタリア料理店ができてその後ろに大きなコンクリートの壁をつくらないと建設許可は出さないとはいっていますからね。

【市長】 ちょっとこの案件すぐにできますか。もしあれだったら持ち帰らせていただいきちっとした回答を。

【都市政策課長】 持ち帰らせていただいで、建築基準の関係もあると思っておりますので、またお返事させていただきたいと思っております。追加で先日、国の四国整備局の道路部長が来られまして、ロープウェー街のことを大変褒めていただきまして、四国にも皆さんにご紹介している事業だというお話をいただきましたので、松山市としてもいろいろ自慢していきたいし、そういうことにも取り組んでいきたいと思っております。

【中学生】 東中学校です。私は地下道の改善してほしい点について言いたいと思っております。まず、照明についてです。照明はとても暗いので、夜一人で通らないといけないとき、外も暗く地下道も暗いので、とても危険だと思います。また、最近では地下道に不審者があらわれたりして、地下道は人通りが少ないので、不審者があらわれたときもすぐに助けをもらうことが難しいと思っております。私は地下道をより多くの人に利用してもらうために、自転車も通れるようにしたいと思っております。自転車の人が向こう側に行くときは、横断歩道しか手段がありません。地下道に自転車が通れるようにすることで、地下道の利用者も増え子どもたちも安心して通れると思っておりますので、検討をお願いします。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。ご意見ありがとうございます。実は私、この地下道を先週通ってみました。入口のところに昭和47年ということで、40年以上経過した地下道でございます。この道路、県道をつなぐ地下道でございます。所管が愛媛県になります。この事案を責任を持って愛媛県に伝えさせていただいて、回答をいただきましたらご連絡させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

【市長】 不審者のことは、私どもから東警察署に伝えておきますので、これはすぐに伝わる案件なので、確かに愛媛県の道路ではあるんですけど、松山市と愛媛県で連携がとれますので、私どもから言うておきますので、また対応があると思います。きちんと伝えておきます。

【男性】 ロープウェー街って明るいまちになったんですけど、実はロープウェー街は案外治安の悪いところなんです。なぜならば、緑町とか最近、学生の少子化で空き家になっているところに外国の方が住まわられていたり、生活保護の方がおられたり、また喜与町あたりでは放火が松山市では一番多いまちだったり、ちなみにロープウェー街だけでも泥棒が入ってあたり、防犯カメラの開示があったり、実はたびたびするんです。ロープウェー街は3町に分かれていまして、この北の町がこの3月解散しましたので、中の町と南の町二つになったんですが、私たちの思っている一番の問題は駅舎の前に防犯カメラがない。これは、もともと事情がありまして、北の町に予算がないから自費でつくれなかったんですけど、今回自費で防犯カメラを駅舎の前につけたいと松山市にご相談させてもらって、防犯カメラは町でつけるんですけど、集中管理のサーバーを駅舎に置かせてくれ、乗り場に置かせてくれと言ったら、そんな場所はないと一括で切られてしまったんですけど、コカ・コーラとかそういう自動販売機はなんぼでも貸しとって、安心安全のものが置けないという理由がわからないんです。それとかロープウェー街にはテントが出ていまして死角になると、電気の行燈のところカメラを置かせてくれと言ったらそれもだめだと。ですから、非常に色んなことで松山市が非協力的だとしか私は思えません。そこら辺も含めて、ボール遊びも含めて、ハード・ソフト両面からよろしく願いいたします。

【市長】 集中管理のサーバーのことについて、早速問い合わせをしておきます。電気の行燈も私から問い合わせをしておきます。

【中学生】 東中3年です。日赤前の道路の洪水についてですけど、先ほど市長さんからの説明で雨水を一時的にためる施設を建設する予定があるのは聞いたんですけど、校内もすごく雨水がたまっていて、年に2・3回くらいしかないんですけど結構困るので、これも東雲小の建て替えのときに何か対策をしていただければいいなと思います。

【下水道政策課長】 下水道政策課の高市と申します。よろしく願いいたします。先ほど市長も言いましたけれども、この建て替えに合わせて、教育センターということで、すぐ道路の際に建ちますので、そちらに雨水の貯留を考えております。学校の中も今回入れたところに雨水が一緒に入るようになれば改善されるのではないかと思いますけど、そのあたり

はあわせて検討させていただいたらと思います。今回はちょうど建て替えということで、そういう場所がありましたので、タイミングよくそちらにできることとなりますので、しばらく待っていただいたらと思います。よろしく願いをいたします。

【市長】 先ほど申し上げたように25mプールの4.5杯分の雨水がためられる施設をつくりますので、かなり改善はできるんじゃないかなと思います。日赤前の道路の改良工事が完成するまでの間は暫定的に仮設の管を入れますので、道路冠水の軽減は図られるのではないかと思います。実は、私が勤めていた会社が近かったものですから、あそこはものすごく雨が降ったら水がたまるというのはよく知っていました。今、松山市は例えば工事というと水道工事、水道も上水道工事、下水道工事があり、電気工事、ガス工事もあるので、これを何遍もほじくり返すことのないように、年度の頭にそれぞれの工事の関係者に集まっていただいて、1年間の道路の工事の場所と時期などの情報を共有するように調整会議をやっています。何遍もほじくり返すことのないようにできるだけしております。ただ、水道やガスの工事を同時に行ってしまうと、市民の皆さんに影響がある場合があるんです。そういう場合とか、例えば道路が狭くて支障がある場合は影響を最小限にとどめるために、少しずつ工事期間をずらして、結果として複数回掘らなきゃいけないところがあるんですけれども、そういう場合は影響があるんだなと、道路が狭いケースなのかなと思っていただいたらと思います。基本的には何遍もほじくり返すことのないように、一度きりということで、今回の教育センターの雨水貯水柵の設置もそういう形です。ご理解いただいたらと思います。

【女性】 全然違う話を申し上げます。私は県外からこちらに来まして、松山市はとても住みやすいまちだなと思って喜んで暮らしているんですけれども、非常に持田に住んでいて怖いなと思っていることがあります。老朽化したコンクリートブロック塀がたくさんあるということです。私の家の前もそうですが、自転車1台分くらいしか通れない細い道を子どもたちがよく通っています。そこは車が通らないのでとても交通事故の心配がないという意味では安全なんですけども、1回地震があつてその塀が倒れてバラバラと落ちてきたりすると逃げ場もありません。35年ほど前の宮城県沖地震でコンクリートブロック塀の下敷きになって亡くなったお子さんがいるのを御存じかと思うんですけれども、昔の方は覚えていらっしゃると思うんですけれども、私は仙台にいたことがありまして、とても崩れ落ちそうなコンクリートブロック塀がたくさんあるのを見て、毎日怖いなと思って暮らしております。仙台ではそういう悲しい怖い思いをしたと

ということがありますので、コンクリートブロック塀をやめて、生垣にする
と助成金が出るということをしてしております。生垣化が大変進んでおります。
もちろん松山市でも、皆さんは石鎚さんが台風を守ってくれるとか、松山
は地震が少ないとか、そういう俗説を言っておられますけれども、断層も
ありまして、芸予地震もありました。少しでも、安心・安全なまちとして
暮らせるように、そういったコンクリートブロック塀、古い芯の入ってい
ないもの、それを改善で生垣化していただける助成、啓発活動を行って
いただきたいと思います。

【都市政策課長】 都市政策課でございますけれども、今言われておりま
したような生垣の補助金は松山市もございまして、ブロック塀から生垣に
する場合には、ブロック塀の撤去費用も補助金が出ますし、生垣について
も1メートル当たり3,000円の補助金もございまして、もう一つは、ブ
ロック塀の安全点検というマニュアル化したものがございまして、松山市
の建築指導課のホームページに載っておりますので、個人で、自分のブ
ロック塀の安全を確認するようなこともできます。ぜひご利用いただいた
らと思います。

【市長】 今、ホームページを出しましたので、確認を皆さんでしてみま
しょうか。松山市のホームページ見ていただいたら、「緑のまちづくり奨
励金制度」というのがありますので、ここをまた見ていただいたらと思
います。皆さんこうやってホームページを探していくのは大変ですよ。で
すので、「こういうことしたいんやけど、ないですかね」というのを言っ
ていただいたら、「こういう方法があるんですよ」とか、「こういう補助メ
ニューがあるんですよ」というのは、担当でお教えできますので、よく言
うことなんですけど、市役所は市民の皆さんの役に立つ所で市役所じゃな
きゃいけないと思っています。市役所は三つの漢字に分かれますけれども、
市民の皆さんの役に立つ所で市役所じゃなきゃいけないと思っています
ので、どうか遠慮なくお電話で問い合わせていただいたらと思います。松
山市役所は総合受付も電話で設けておりますので、「こういうこと相談し
たいんじゃけど」って言ってもらったら担当課につながりますので遠慮なく
言っていただいたらと思います。

【中学生】 東中学校です。日赤前の歩道ですけど、日赤前の歩道は小学
生、中学生、大学生、そして一般の方が使うので、利用者がとても多い
です。でも、歩道がとても狭くて中学生が帰るときや小学生が帰るとき、自
転車と接触しそうになり危険です。なので、平和通りのような自転車専用
の通路をつくるか、もう少し歩道を広げるかしてほしいと思います。

【都市政策課長】 都市政策課でございますけれども、今言われました道

路は先ほどから出ています小中学校の建て替えとか、日赤病院の建て替えに合わせて、道路も整備することになっております。今言われましたように、新しく自転車のレーンを新しく設けるとか、歩行者専用のしっかりした歩道をつくるとか、そういう計画で進んでおりまして、実は平成25年に一部用地買収にも取りかかっておりまして、病院の建て替えの時期に合わせてやる工事ですので、すぐに1年2年でできる工事ではございませんけれども、実際にもう動いておりますので、よろしく願いいたします。

【市長】 私から補足をさせていただきます。あそこは比較的、日赤とか学校とか、愛大とか、大きな土地を持っている方がいらっしやったので比較的話が進みやすい案件ではあったんですけども、例えば松山市の空港通りとか、空港のほうから高校生の人とか中学生の人とか市内に来るんですけど、結構道が狭いんです。松山市としてもできるだけ安全にしたいので道を広げたいんです。広げたいんだけども、広げようと思ったら、軒並みその人たちに下がってもらわないといけませんよね。下がってもらうためには、そこで住み続けられるのか、別の土地を構えないといけませんのか。その土地を行政が買わせていただかないといけませんよね。そして、そのある1軒の人はオッケーでも、次の人がだめっていったら、道がでこぼこになりますよね。そういうのがあってなかなか道を広げるというのは難しい。今回は大きな土地の所有者であったので、比較的簡単にいったところなんです。こういうタウンミーティング続けていまして、今、2巡目のタウンミーティングですから、もう60何回タウンミーティングやったわけです。皆さんから、「市長これやってや、市長あれやってや」というご意見いただきます。私も人間ですから、市長の人気取りのことだけ考えると、「わかりました、それやりましょう、これやりましょう」って言ったほうが楽なんですけれども、私が思っているのは、将来の孫や子ども、次の世代にツケを残すことはできないと思っています。やっぱり限られた予算です。でも、市役所内で言っているのは、お金がないといって思考停止になると、とっってもおもしろくない話なので、知恵と工夫でできることがあるということできまざまやっていますところなんです。今、おかげさまで、松山市は消防団の数は全国では減少傾向ですけど、松山では増加しているんです。四国で消防団員の数が一番だったり、女性消防団員の数は日本一だったり、また、防災士の数が日本一だったり、全国1,800の自治体の中でわずか23しか選ばれていない環境モデル都市に松山市を選んでもういただけたりとか、それは、お金は確かにどこの自治体もないんですけども、知恵と工夫でやっているの、いろいろないい取り組みができていますのかなと思います。ちょっと私から、松山市の仕事ってこんなにあるんよ。

ちょっと言うね。文化的なこと、スポーツ、災害対策、人権にまつわること。住民票や戸籍やパスポートなどの手続きのこと、子どもの福祉のこと、高齢者の方の福祉のこと、障がいがある方の福祉のこと、生活に困っている人の福祉のこと。保育所もあるし、幼稚園もあるし、小学校もあるし、中学校もあるし、公民館もあるし、文化財のお仕事も。健康に関すること、ごみなどの環境のお仕事、道路のお仕事、上水道・下水道・川のこと、公園のこと、市営住宅のこと、観光のこと、農林水産業のこと、消防のこと。こんなにいっぱいのお仕事をしているのが市役所のお仕事です。こうやって皆様のところに行かせていただいて、お話を聞かせていただくのは、なぜやっているかという、やっぱり皆様の声をちゃんと把握しないと、やるべきことが間違っちゃいけない、下手なこととして将来の子どもや孫にツケを残すことはしてはいけませんので、だからといって何もしないわけじゃなくて、やるべきことはきちんとやる。後手を踏まないように、やるべきことをきちんとやる。そしてできないこともやっぱりあり、1度にはできないので、優先順位をつけさせていただくためにこのタウンミーティングを重ねさせていただいておりますので、またご理解をいただけたらと思います。

【男性】 予算を執行する市に言うのも何なんですけど、小中学校に防犯カメラを設置するのが議会で決まったと思うんですけど、あれのことに関して僕は費用対効果としては、あんまり望めないところがあると思うんです。どの犯罪を対象にしたもので設置するものなのかということで、特に東雲小学校ってそんなに治安が悪いところだと思っていないんです。そういったことで、予算がないという現状であの予算額では、ちょっと予算が無駄になるんじゃないかと僕は思っております。詳しく読んでいないので、どういったものを対象にしているのかというのをちょっとお聞かせいただければと思っております。

【市長】 これはアンケートを実際に実施をさせていただいて、やらせていただきましたが。

【生涯学習政策課長】 教育委員会でございます。ご質問ありがとうございます。すでに小中学校には防犯カメラの前に警報ブザーでありますとか、色んな形で子どもたちの安全・安心を見守っているところでございますが、このきっかけとなりましたのが、全国でもありましたけれども、松山市でも、ある学校で休日だったんですけれども、窓ガラスがかなりの枚数破損されていた事実がありました。これを受けまして、松山市でもそういう休日とか夜間、侵入者を防ぐにあたって警報ブザーだけでは間に合わないなということで、各小中学校の学校とか、PTAの会長あたりとお話をいた

しまして、ご要望のあるところに限り、予算要求させていただいたというのが実情でございます。例えば、東雲小学校でありましたら、東中のどの場所にカメラを設置するというのは、これから各学校と相談させていただき、カメラの設置場所等も決めていきたいと考えておりますけども、基本的には夜間とか学校に誰もいないとか、正門にも必ず誰かいるわけではございませんので、そういうところの犯罪抑止といったところに着眼しております。ですから、全然被害がなければ、結果的には無駄かもしれないですけども、あることによって抑止できるケースもありますので、ご理解をいただければと思います。

【男性】 町内会長をやっております。一つご質問をしたいんですが、石手川のことですけれども、石手川ダムの放水量、これを最大流すと石手川のどこが一番弱いかをお聞きしたい。そういうことを調べとるかどうかも含めてですね。それともう一つは石手川ダムは震度いくつまでの地震で絶対に大丈夫ということがあると思うんですけれども、例えば壊れて決壊したという場合に松山市のどこがどうなるかを調べておればご回答願いたい。

【下水道政策課長】 ご質問ありがとうございます。下水道政策課です。基本的にダムは国が管理しておりますので、そちらでお問い合わせの件でどうなっているのかを問い合わせした中で、またお答えができたらと思います。川につきましても、国あるいは県になっておりますので、私ども今、資料は持ってはいないですけれども、そちらに問い合わせした中でまたお答えをできたらと思いますので、よろしくお願いします。

【市長】 松山市では「内水ハザードマップ」をつくりました。こういうものをつくらせていただいておりますけれども、誤ったことを言ってもいけませんので、ちょっと持ち帰らせていただいて、お返事をさせていただいたらと思います。

【男性】 すみません。これは校区とは別になるんですが、全国的にも愛媛県は海岸線の広いところである。それゆえに、その県都の松山市に、よその地区でも話は出ているだろうとは思いますが、水族館をぜひ早くつくってもらいたいなど。よそから来たときに、松山に遠足に来たときに行くところはどこに行くか。道後温泉は行くわけないし、そうしたら城山か動物園か水族館。我々大人にしてもですけど、大人も子どももやっぱり楽しみにしているのは、そういうようなところ。ぜひ何とかならないかと思うことを一つお願いしたい。希望ですがお願いしたいと思っております。それと、さっき言うておりましたけど、上一万の地下道は少々歩くところが狭くなるかもわかりませんが、自転車の通る道ができれば非常に助かる

など思っております。それからロープウェー街、これは県外の観光客が大勢来るところといったら道後温泉か、あるいは一番大勢通るといったらロープウェー街じゃないかと思えます。湊町でもないし、大街道でもないし、ロープウェー街を一番県外の観光客が一番大勢通るところですので、ぜひあそこをもっと考えていただきたい。

【市長】 ちょっと私から逆に質問したいんですが、地下通路って自転車入ってしまうと、下りはいいですけど、例えば高齢の方が地下道に入って上がっていくときは上り坂を上がる形になりますよね。そのあたりはお年召した方は大丈夫でしょうか。どちらかというとならぬと平面のほうが通りやすいんだがみたいなことではなくて、地下通路で大丈夫ですかね。上り坂にはなりますけど、自転車を押して上がらないかんから。

【男性】 横断歩道がないんですよ。

【女性】 ないので、上を歩くんですよ。

【市長】 上を歩いている。

【女性】 線路を渡ってABCのところから渡って行って。

【市長】 それは自転車が。

【女性】 自転車も人も通りますよ。渡ります。

【市長】 あそこってどうなっているんですしたっけ。上一万は横断歩道あるんですしたっけ。

【都市政策課長】 ないです。

【市長】 ない。あそこに横断歩道をつくる話が出ているんですしたっけ。要望として皆さん出ているんだけど、なかなか難しいということだったんですかね、あそこが。

【都市政策課長】 地下道と横断歩道が両立というのが、多分難しいんだと思います。

【市長】 なるほど。

【女性】 だけど、高齢者の方はほとんど通るんです。下はほとんど通らないです。車を見て渡ります。

【市長】 なるほど。あんまりいい状態ではないですね。これはやっぱり県にまた要望としてお伝えするということで、ありがとうございます。それとロープウェー街のことは、共に一緒にやってみようということだと思います。また松山市としても、ロープウェー街にお金を入れさせていただいて、皆さん方と一緒にやってロープウェー街をきれいにさせていただきました。そしてロープウェーもまた新しいものを導入させていただきました。やっぱり松山市にとって、中心商店街ってすごくこれからのまちづくり考えても大事なところなので、また一緒に連携をとりながら、商店

街の方にもアイデアを出していただいて、我々はサポートをさせていただくという形で、去年の夏、ビアガーデンだったですか、ロープウェー街でそういうイベントが行われて、またイベント増えたな、にぎわいが生まれるといいなと思った次第ですけれども、しっかりとサポートしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。あと、水族館の話ですが、私も資金が潤沢なときに市長をさせていただいたら、多分水族館を建てたんじゃないかなと思います。実は、水族館は調査をしまして、大体今水族館つくろうと思ったら、約30億から100億円規模のお金が要ります。これは皆様からの税金を使わせていただく形になります。ですので、これはよく検討しなければなりません。行政の難しさは、一遍つくったらすぐに調子が悪いのでやめまですってできないんです。しっかりと計画を立ててやらないと、今度維持管理するためのお金が要ります。それは将来の世代が負担をすることになるので、その辺をしっかりと見極めながらやっていかないといけないなと思います。これも皆さんから、ほかのところのタウンミーティングでもそういう要望は出ましたので、これは検討はさせていただきたいと思います。道後温泉は今、昨日も大部にぎわっていたんですが、「道後オンセナート」といまして、日本最古の道後温泉を最先端の芸術で魅力アップしていこうという「道後オンセナート」をやっております。昨日もものすごい多くの方が来られています。何かつくるのも方法だと思うんですけれども、今ある宝を生かしていく、市民の皆さんと一緒に磨いていくというのもやり方だと思いますので、何かにお金を突っこんでしまったら、今日、色んな松山市役所の仕事について述べさせていただいたんですが、そっちはどうするんだという部分もありますので、確かに何かつくと経済効果でプラスになるという部分もあるんですけど、その辺をさまざま検討しながら、将来の世代にツケを残さないようにやっていきたいと思います。今日は長時間にわたりまして、活発な意見を出していただきまして、ありがとうございます。皆様にお約束させていただくのは、我々はいい加減なつもりでこのタウンミーティングをやっているわけではありません。確かにしんどい仕事にはなります。私が1カ月を目途に必ず返事をするんだと言っておりますので、かなりしんどい仕事はありますけれども、パフォーマンスとかガス抜きのためにこの仕事はやっているわけではありません。私は一市民から、この立場をいただいた人間です。「どうせ言うたって変わらへんよ、政治家に言うたって変わらへんよ、市役所に言うたって変わらへんよ。」じゃなくて、皆さんの声をいただいて、もっと皆さんと行政の距離を近くしていきたいと思っております。それが一市民から出てきた私のできること、持ち味かなと思ってお

りますので、真剣に検討させていただいたらと思います。先ほどお金の話がありましたけども、今、松山市役所では、コピー用紙の削減にも取り組んでおります。まず、私、市役所に入りましたときに、もともと民間出身ですから、かなりコスト意識は鍛えられました。コピー用紙を多数使います。でも、松山市役所は個人情報扱わせていただくので、個人情報が漏れてしまうような両面コピーは絶対にすることができませんけれども、使えるものは絶対に両面コピーするんだということで、300万円のお金を生み出すことができました。やっぱり幅広い分野の仕事をしていますので、やっぱり全体で意識をすることで、1年間で300万円の削減をすることができました。今、そういう形で自分のお金だと思ってお金を使ってくださいということを、全庁に言うておりますので、使わないところにはお金入れないです、ほかのところに使いたいですから。そういったところで、よくコストについては計算をしながらやっておりますので、そのところはお安心をいただけたらと思います。ちょっと長くなりましたけれども、これで本日のタウンミーティングを終了とさせていただきます。必ず、1カ月を目途に皆さんのところに、地区にお答えをお返しいたしますので、それをまた見ていただいて、そういう意見が返ってきたけど、こうしたいんよってということで、会話のキャッチボール、コミュニケーションをしていければと思います。どうか皆様方には、市役所に対して敷居が高いなとなるとよくありませんから、「こんなんしたいんやけど、何かアイデアないかな」っていう形でいいコミュニケーションができればと思いますので、どうぞ今後ともよろしくお願ひします。今日はありがとうございました。

— 了 —